取扱説明書

AMAZONE

AMACO

ヘクタールカウンタ

初期設定を行う前に、本取扱説明書をよくお読みください。今後必要になる場合に備え、安全な場所に保管してください。

MG4928
BAG0028.0 04.06
Printed in Germany

ja

本書をよくお読みください

取扱説明書を読み、その内容を遵守することは面倒で余計なことだと思われるかもしれません。しかし、この機械が優良であると人から見聞きし、機械を購入し、後はすべて独りでにうまくいくと信じるだけでは不十分です。それでは自分自身に損害を与えるだけでなく、意に反した作動が起きた場合の原因を自分ではなく機械のせいにもしかねません。良い成果を得るには、使い方を良く理解し、機械の各設備が持つ使用目的について知り、操作方法に精通する必要があります。そうすることで初めて、機械にも自分自身にも満足することができるのです。それを果たすことが、本取扱説明書の目的です。

ライプツィヒプラークヴィッツ、1872年

識別データ

機械の識別データをここに記入してください。識別データは銘板に記載されています。

タイプ： AMACO

製造年：

メーカーの所在地

AMAZONEN-WERKE

H. DREYER GmbH & Co. KG

Postfach 51

D-49202 Hasbergen / Germany

電話： + 49 (0) 5405 50 1-0

Fax： + 49 (0) 5405 501-234

E-mail: amazone@amazone.de

交換部品の注文

交換部品のリストは、www.amazone.deの交換部品ポータルで自由に閲覧可能です。

ご担当のAMAZONE代理店に発注してください。

本取扱説明書についてのデータ

文書番号： MG3729

編集日： 04.06

© Copyright AMAZONEN-WERKE H. DREYER GmbH & Co. KG, 2006 .

All rights reserved.

AMAZONEN-WERKE H. DREYER GmbH & Co.
KGの許可なく本書の一部または全部を複製することを禁じます。

はじめに

顧客の皆様

このたびは、弊社 AMAZONEN-WERKE, H. DREYER GmbH & Co. KGの高品質で豊富な製品の中から当機をお選びいただき、ありがとうございます。そのご信頼に対し深く御礼申し上げます。

機械を受け取ったら、輸送中に損傷を受けていないか、また部品がすべて揃っているか確認してください。納品書と照らし合わせ、注文した特殊装備も含め、すべてが機械に備わっていることを確認してください。ただちに問題を指摘していただかないと、不具合を修正することができません。

初期設定を行う前に、本取扱説明書（特に安全に関する注意事項）をよく読み、十分に理解してください。注意深くお読みいただいて初めて、ご購入いただいた機械のすべての長所が活用可能になります。

初期設定を行う前に、機械を操作する人が全員、本取扱説明書を読んだことを確認してください。

不明点や疑問点がある場合は、本取扱説明書を参照するか、または弊社までお問い合わせください。

定期的にメンテナンスを実施し、磨耗部品や損傷部品を適宜交換することで、機械の寿命を伸ばすことができます。

ユーザーからの評価

読者の皆様

弊社では定期的に取扱説明書をアップデートしております。よりユーザー本位の取扱説明書に改良していくため、皆様からのご意見は大変参考になります。皆様のご意見をFaxでお寄せください。

AMAZONEN-WERKE

H. DREYER GmbH & Co. KG

Postfach 51

D-49202 Hasbergen / Germany

電話： + 49 (0) 5405 50 1-0

Fax： + 49 (0) 5405 501-234

E-mail: amazone@amazone.de

1 ユーザー向けの情報 7

1.1 本書の目的 7

1.2 本取扱説明書での位置の記載 7

1.3 使用している記号 7

2 一般的な安全上の注意事項 9

2.1 義務と責任 9

2.2 安全に関する記号の意味 11

2.3 組織としての対策 12

2.4 ユーザーのための安全上の注意事項 12

2.4.1 電気系統 12

3 製品の説明 13

3.1 概要 13

3.2 使用目的 14

3.3 散布ラインの主要諸元 15

4 構造と機能 16

4.1 機能 16

4.2 取り付け高さ 16

5 取り付け時の注意事項 18

5.1 バッテリーを入れる 18

5.2 コンピュータの取り付け 18

5.3 センサ「ha」を無段階式ギアボックスに取り付け 19

5.4 マグネットとセンサ「ha」をツーレンジギアボックスに取り付け 20

5.5 マグネットとセンサ「ha」を精密シードドリル ED に取り付け 21

5.6 ツーレンジギアボックスがないシードドリルにマグネットとセンサ「ha」を取り付け 22

6 初期設定 23

6.1 機械コードの入力 24

6.1.1 コードのプログラミング 27

6.2 機械係数と作業幅を入力 28

6.2.1 様々な機械用の係数 28

6.2.2 係数の計算 29

6.2.3 係数と作業幅のプログラミング 30

7 機械の使用 31

7.1 作業開始 31

7.2 運転休止 31

7.2.1 センサケーブルプラグをコンピュータから外す 32

7.3 コンピュータの保護 32

8 不具合 33

8.1 機能チェック 33

8.2 バッテリ電圧の確認 33

8.3 コンピュータの機能を確認 34

8.4 センサ「ha」の機能点検 34

1 ユーザー向けの情報

この「ユーザー向けの情報」の章では、本取扱説明書の使い方について説明します。

1.1 本書の目的

本取扱説明書について

- 本書には機械の操作方法· メンテナンスが記載されています。
- 本書には機械の安全で効率的な操作方法が記載されています。
- 本書は機械を構成する一部です。つねに機械または牽引車両と一緒に保管する必要があります。
- 今後必要になる場合に備え、安全な場所に保管してください。

1.2 本取扱説明書での位置の記載

本取扱説明書に書かれている方向は、すべて進行方向を基準としています。

1.3 使用している記号

操作手順と操作結果

ユーザーが実施しなければならない操作手順には、番号が振られています。記載されている順序を必ず守ってください。操作結果は、矢印で示されています。

例：

1.操作手順 1

→ 操作手順1に対する操作結果

2.操作手順 2

リスト

順番が重要ではないリストは、黒丸で箇条書きになっています。

例：

- ポイント1
- ポイント2

図中の番号

丸カッコに入った数字は、図中のアイテム番号を示しています。1つめの数字は図の番号を意味し、2つめの数字はアイテムを指します。

例：（図3/6）

- 図3
- アイテム6

2 一般的な安全上の注意事項

本章では、機械の安全な操作に関する重要な情報が記載されています。

2.1 義務と責任

本取扱説明書の指示をお守りください

機械を安全に、かつ正常に操作するためには、基本的な安全上の注意事項と安全規則に関する知識が基本条件となります。

ユーザーの義務

機械を使って作業する人は全員、作業を開始する前に以下の行動を取る義務を負います。

- 基本的な作業場での安全上の注意事項と事故防止規則を守ること。
- 本取扱説明書の「一般的な安全上の注意事項」の章を読み、守ること。
- 本取扱説明書での、与えられた作業義務の遂行に重要となる章を読むこと。

ユーザーが設備に安全技術上の不備があると気づいた場合は、これををすみやかに取り除いてください。ユーザーの作業義務の範囲を超える場合、またはユーザーが相応の専門知識を有していない場合は、管理者（オペレーター）にこの不備を通知してください。

機械取り扱い時の危険

本機械は最先端技術を駆使し、広く認められている安全規則を踏まえて製造されています。しかし、機械の操作は潜在的な危険を伴うものであり、以下のものに損害を与える可能性があります。

- ユーザーまたは第三者の健康と安全
- 機械
- その他の所有物

本機械を使用する場合は必ず、

- 本来の使用目的で使用してください。
- 完璧に修理された状態で使用してください。

安全性を損なう恐れのある不具合はただちに修理してください。

保証と賠償

弊社の「販売および納入の一般条件」が常に適用されます。これは遅くとも契約締結時までにオペレーターに提示されます。以下の1つ以上の事由に原因が求められる場合は、人的および物的損害に対する保証および賠償請求は無効となります。

- 機械の不適切な使用
- 機械の不適切な取り付け、初期設定、操作およびメンテナンス
- 安全装置に不具合がある状態または不適切に取り付けた状態、もしくは安全装置が機能しない状態で、機械を操作した場合
- 初期設定、操作およびメンテナンスに関する本取扱説明書の指示を守らなかった場合
- 無許可での機械の設計変更
- 磨耗する可能性のある機械部品を十分に監視していなかった場合
- 不適切に修理を実施した場合
- 不可抗力または異物の衝突による災害

2.2 安全に関する記号の意味

安全上の注意事項は、三角形の安全マークと目立つ警告文字によって表示されています。警告文字（危険、警告、注意）は、危険の度合いを表し、以下の意味があります。

危険

回避しなければ死亡または重傷（体の一部の損失または長期の傷害）を招くことになる、差し迫った高い危険を示します。

指示に従わなかった場合、ただちに死亡または重傷を負うことになります。

警告

回避しなければ死亡または（命にかかわる）重い怪我を招く可能性がある、中程度の危険を示します。

指示に従わなかった場合、死亡または命にかかわる重い怪我を負う可能性があります。

注意

回避しなければ軽傷または中程度の怪我や物的損害を招く恐れのある低い危険を示します。

重要

機械を正しく操作するために必要な行動や、義務付けられる特別な行為を示します。

これらの指示に従わないと、機械の不具合や環境への悪影響を招く恐れがあります。

注記

操作のヒントや特に役立つ情報を示します。

これらの指示は、お使いの機械のすべての機能を最大限に活用するのに役立ちます。

2.3 組織としての対策

本取扱説明書は、

- 必ず機械を操作する場所に保管してください。
- つねにユーザーとメンテナンス補助者が容易に閲覧できるようにしてください。

すべての安全装置を定期的に点検してください。

2.4 ユーザーのための安全上の注意事項

2.4.1 電気系統

- 電気系統の作業を行うときは、必ずバッテリー (マイナス端子) の接続を外してください。
- 必ず指定のヒューズを使用してください。定格の大きいヒューズを使用すると、電気系統が破壊され、火災の危険があります。
- バッテリーは必ず正しい順序で接続してください。まずプラス端子を接続してから、マイナス端子を接続します。バッテリーの接続を外すときは、まずマイナス端子の接続を外してから、プラス端子の接続を外します。
- バッテリーのプラス端子には、必ず適切な覆いを取り付けてください。間違ってアースと接触すると、爆発する危険があります。
- 爆発の危険 バッテリーの近くでは火花や裸火は避けてください。
- 本機械には、他の装置から電磁妨害の影響を受ける電子部品が装備されている可能性があります。この電磁妨害は、以下の安全上の注意事項を守らないと、人に危険を及ぼす可能性があります。
    - 電気装置を後付けして車載電源に接続する場合は、ユーザーの責任のもとで、設置することによって車両の電子機器その他の装置に不具合が生じないかどうか確認してください。
    - 後付けする電気・電子機器が EMC 指令 2004/108/EC の適切なバージョンに適合しており、CE マークが付いていることを確認してください。

3 製品の説明

本章では、

- AMACO の構造の全体像を紹介します。
- 各モジュールおよび操作部の名称を紹介します。

3.1 概要

- 納品内容と交換部品の注文番号

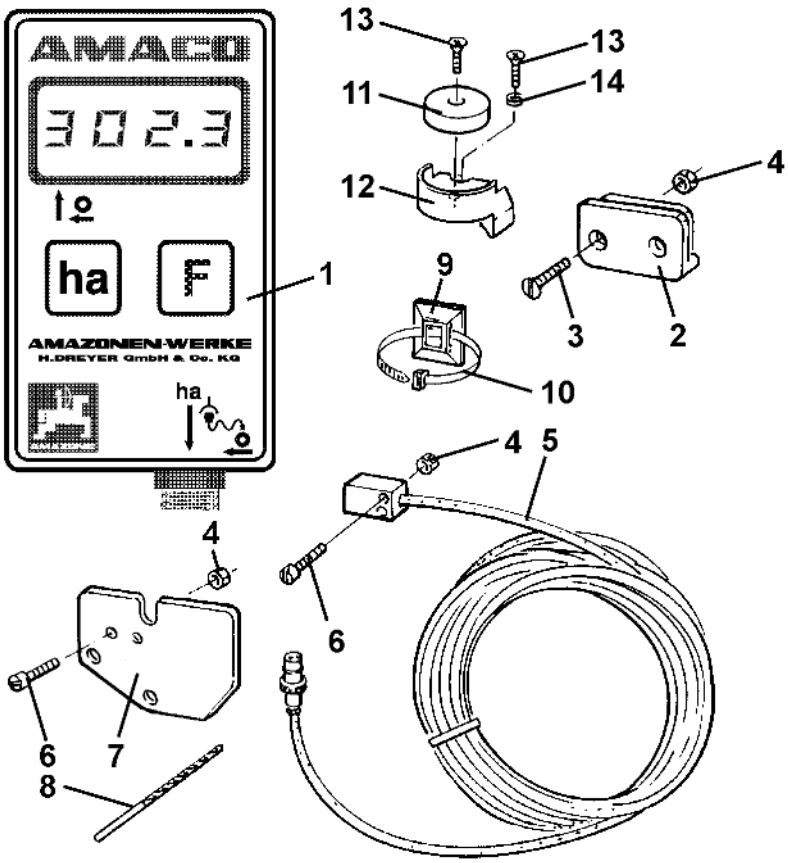

図 1

名称:		注文番号	数:
1	電子式ヘクタールカウンタ (ポジション 2 ~ 14 を含む)	954671	1
2	コンピュータ用ホルダ		2
3	皿ビス M4x25		4
4	ロックナット M4		6
5	7m	NE253	1

	ケーブルとプラグを備えたセンサ		
6	シリンダねじ M4x20		2
7	ツーレンジギアボックス用のセンサホルダ	951857	1
8	ドリル (∅ 3.6mm)		1
9	粘着性パッド 29x29		15
10	ケーブルタイ		10
11	マグネット一式 (ポジション 12、13、14 を含む)		1
12	マグネット用ホルダ		1
13	セルフタッピンねじ M4x10		2
14	スプリングリング		1

3.2 使用目的

AMACO は農業分野での表示装置および測定装置としてのみ設計されています。

「使用目的」には以下のことも含まれます。

- 本取扱説明書のすべての指示を守ること。
- 検査およびメンテナンス作業の実施。
- AMAZONE 純正交換部品だけを使用すること。

以上で指定されたのとは異なる使い方は、禁止されており、不適切なものと見なされます。

不適切な使用によって生じた一切の損害については、

- オペレーターだけが責任を負います。
- AMAZONEN-WERKEは責任を負うことはできません。

3.3 散布ラインの主要諸元

モデル:	AMACO
表示限界:	浮動小数点 – 表示、4 桁
表示:	液晶 - 表示
電源:	2x1.5 ボルト単三電池
周辺温度:	0°C ~ 45°C
コンピュータの寸法 （高さ x 幅 x 奥行き） mm:	120 x 69 x 39
重量（基本装備）kg:	0.75
センサ:	最大 167 インパルス / 秒
ヘクタールカウンタ:	最大 360 ha/h = 0.1 ha/ 秒

4 構造と機能

次の章では、**AMACO**
の構造と個々の構成部品の機能について説明しています。

4.1 機能

AMACO
は作業済み面積を表示するための電子式ヘクタールカウンタです。

4.2 取り付け高さ

- **ディスプレイ (図 2/1)**

下側のバー (図 2/1) は作業中に点滅します。

コンピュータはセンサのインパルスを受信します。

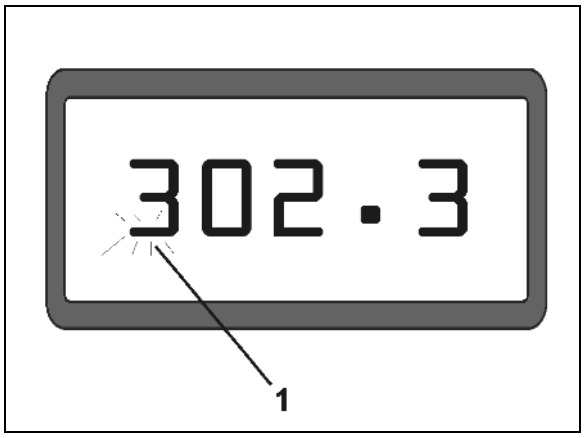

図 2

- **キー**

キー [ha] (図 3/1)

- o スイッチ ON
- o 値を変更
- o [F] キーを押しながらスイッチ OFF

キー [F] (図 3/2)

- o スイッチ ON
- o 変更する値をマーク
- o [ha] キーを押しながらスイッチ OFF

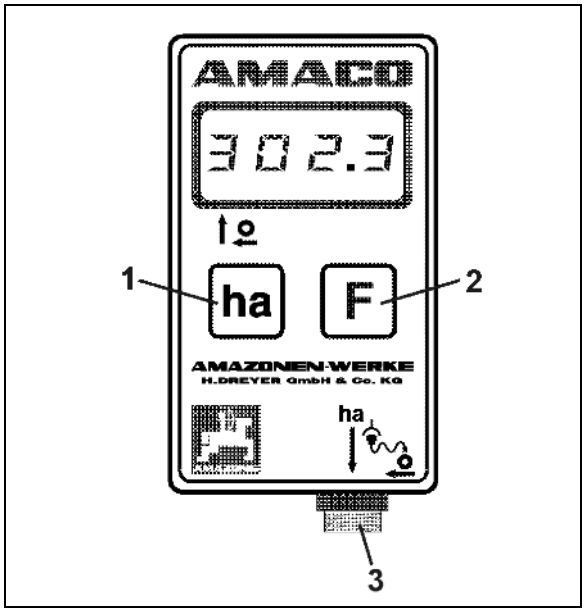

図 3

- **センサ接続部** (図 3/3)

無段階式ギアボックスを備えたシードドリル

図 4 はセンサ「ha」の固定点を表示します。

1. センサ「ha」

無段階式ギアボックスの筐体内には、センサ用のマグネットが標準で取り付けられています。

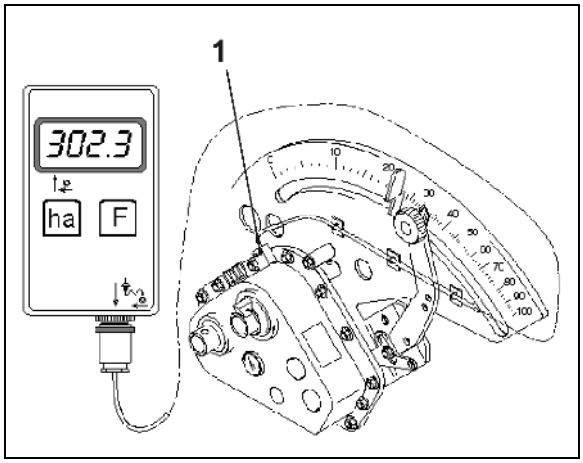

図 4

ツーレンジギアボックスを備えたシードドリル

図 5
はプロペラシャフトでのセンサ「ha」の固定点とマグネット固定点を示しています。

1. センサ「ha」
2. マグネット
3. プロペラシャフト

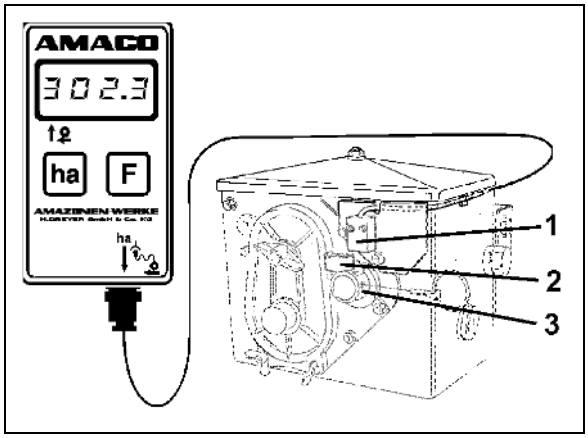

図 5

精密シードドリル ED

図 6 はプロペラシャフトでのセンサ「ha」の固定点とマグネット固定点を示しています。

1. センサ「ha」
2. マグネット
3. プロペラシャフト

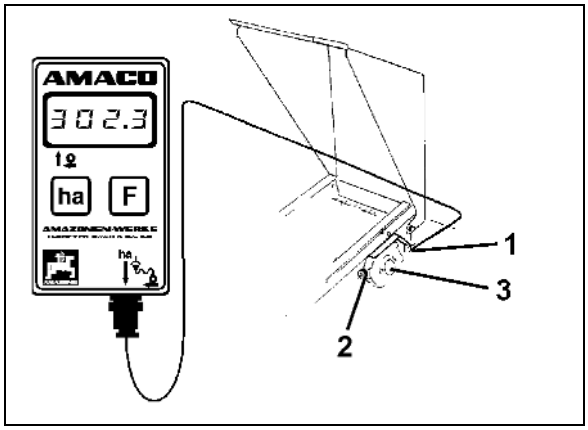

図 6

5 取り付け時の注意事項

5.1 バッテリーを入れる

コンピュータの納品内容には、2 本の 1.5 V 単三電池が含まれます。バッテリー収容部は装置の背面にあります。

バッテリーを入れる:

1. バッテリー収納部のフタを押し開けます。
2. バッテリーをホルダに入れます。
   バッテリーの向きを正しくしてください (+/-)!
3. バッテリー収納部のフタを閉じます。

5.2 コンピュータの取り付け

1. コンピュータのホルダ (図 7) をトラクターのキャビンに固定します。

コンピュータを霜や強力な直射日光から保護します。

2. コンピュータをホルダの上にずらします。
3. すべてのパーツを取り付け、シードドリルをトラクターに固定した後、センサのプラグをコンピュータのソケットに差し込み、プラグをねじで固定してください。

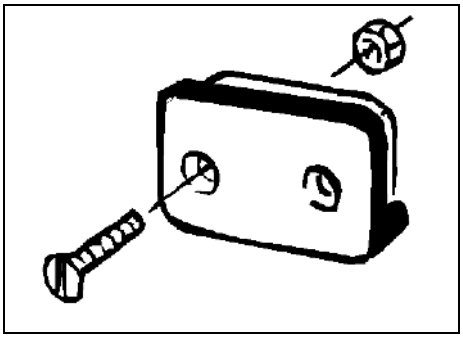

図 7

5.3 センサ「ha」を無段階式ギアボックスに取り付け

1. センサ (図 8/1) を無段階式ギアボックスにねじ固定します。
2. センサケーブルをトラクターキャビンに配線します。ケーブルは粘着性パッドとケーブルタイでシードドリルに固定します。粘着性パッドにグリースや汚れが付いていてはいけません。

注意

センサケーブルは、作業中に損傷することがないように配線してください。

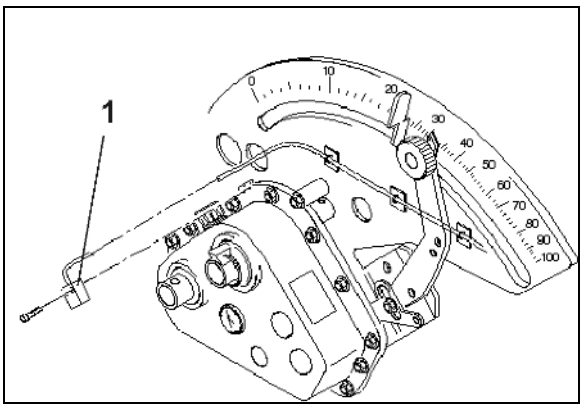

図 8

5.4 マグネットとセンサ「ha」をツーレンジギアボックスに取り付け

1. リンチピン (図 9/1, アジテーターシャフトとドライブを接続) を取り外します。
2. マグネットホルダ (図 9/2) をセルフタッピンねじ M4 x 10 (図 9/3) とスプリングリングでギアのホローシャフト (図 9/4) にねじ固定します。

旧タイプのシードドリルでギアのホローシャフトに固定用の穴があらかじめ用意されていない場合:

3. 同梱のドリル で穴 (Ø 3.6 mm) をギアのホローシャフト (図 10/1) にあけます。
   - o リンチピン用に、既存のボアに対して 90° ずらした位置に穴をあける必要があります。
     ホローシャフトの縁から穴の中心までの距離 A (図 10 を参照) は 5 mm になります。穴をあける場所にセンターポンチでくぼみをつけます。
4. マグネット (図 9/5) をセルフタッピンねじ M4 x 10 でマグネットホルダにねじ固定します。
5. センサ (図 9/6) をセンサホルダ (図 9/7) にねじ固定します。
6. センサホルダ (図 9/7) を 2 個の筐体用ナット (図 9/8) でギアボックスに固定します。
7. センサケーブル (図 9/9) をトラクターキャビンに配線します。

注意

センサケーブルは、作業中に損傷することがないように配線してください。

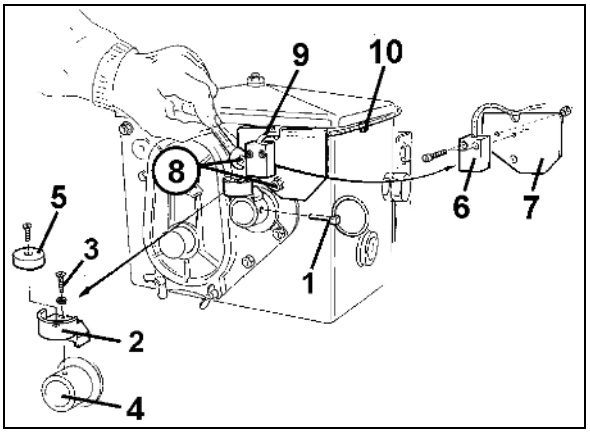

図 9

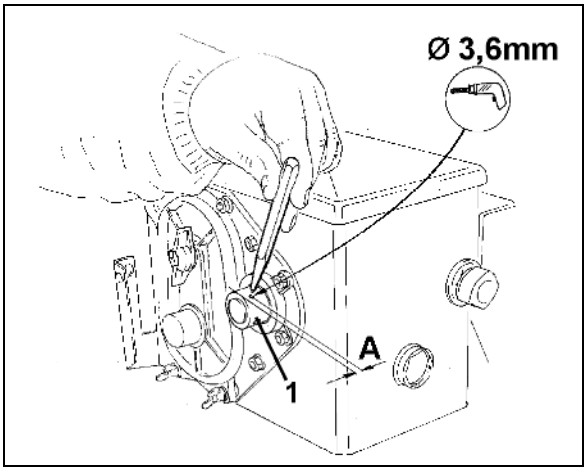

図 10

8. ケーブルは粘着性パッド (図 9/10) とケーブルタイでシードドリルに固定します。粘着面にはグリースや汚れがついていてはいけません。

9. リンチピン (図 9/1) をギアのホローシャフトに差し込みます。

5.5 マグネットとセンサ「ha」を精密シードドリル ED に取り付け

センサとマグネットは ED (図 11) でチェーンホイール調節ギアの入り口に固定します:

1. マグネット (図 11/1) をセルフタッピンねじ M4 x 10 でギアボックス入力軸のインパルスディスクにねじ固定します。

2. センサの固定のため、インパルスホルダ (図 11/3) を外し、その後ふたたびねじ固定してください。

3. センサ (図 11/2) をインパルスホルダ (図 11/3) にねじ固定します。

4. センサケーブルをトラクターキャビンに配線します。ケーブルは粘着性パッドとケーブルタイでシードドリルに固定します。粘着性パッドにグリースや汚れが付いていてはいけません。

センサケーブルは、作業中に損傷することがないように配線してください。

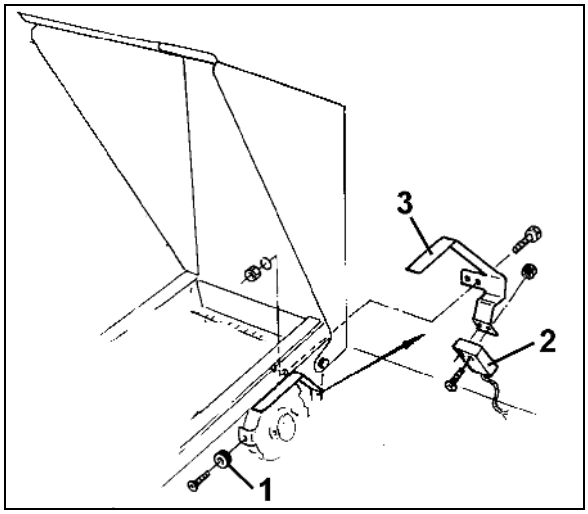

図 11

5.6 ツーレンジギアボックスがないシードドリルにマグネットとセンサ「ha」を取り付け

センサとマグネットを 5.4 章にある通りにツーレンジギアボックスに固定できない場合には、マグネット (図 12/1) をご使用のシードドリルのドライブ軸に取り付け、そしてセンサ (図 12/2) を 12 mm 以内の間隔 (図 12) で適切な場所に取り付けてください。必要な場合にはセンサホルダ (図 12/3, 注文番号: 950725) を注文できます。

いずれの場合にも、この取り付けでは係数を計算し (29 ページの を参照)、作業幅と一緒にプログラミングしなければなりません (30 ページの を参照)。

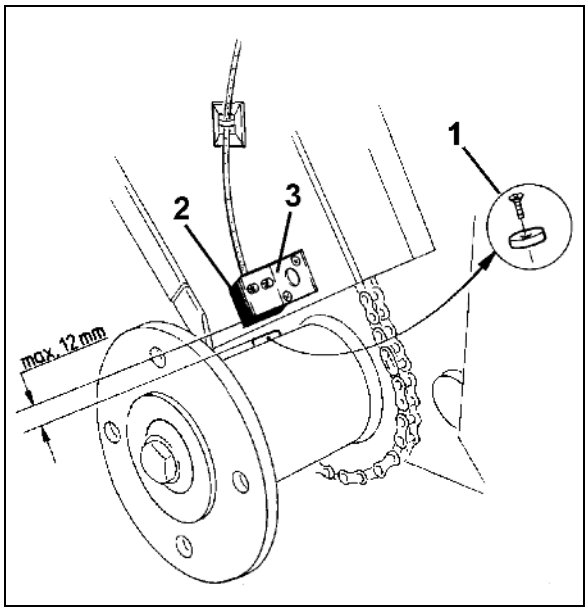

図 12

6 初期設定

シードドリルをトラクターに固定した後、センサプラグをコンピュータのソケットに差し込み、プラグをねじで固定してください。

コンピュータを ON にする

F キーまたは ha キーを押します。

→ 表示 (短時間) :
装置バージョン番号、「HA. X.X」など

→ バッテリ電圧の自動チェック。
電圧が低すぎる場合: 表示 [-bl-]

→ 表示:
前回プログラミングされた機械コード、**F.4** など

ディスプレイに記号 [-bl-] が表示されたら、コンピュータを OFF にし (31 ページの 参照) 、バッテリーを新しいものと交換してください (18 ページの 参照) 。

AMACO が作業済み面積を正しく検出するためには、機械に応じて

- **係数と作業幅、または**
- **コード**

を入力しなければなりません。

機械コードを入力 (25 ページの を参照)

- コード (**F.13** など) をプログラミングすることにより、シードドリルの名称をコンピュータに通知します。コードには、コンピュータに必要なシードドリル作業幅の情報と、移動距離に対するマグネット回転数の割合が含まれています。

機械係数と作業幅を入力 (29 ページの を参照)

- 表ではコードの横の回転数に注意してください。指定されているものとは異なるキャリブレーション数でキャリブレーションテストを実行する場合、またはセンサ「ha」が 5 章の通りに固定されていない場合には、ご使用のシードドリルのデータを計算し、その後このデータをプログラミングしてください。
- **AMAZONE D9, AD-P, AD03** 用

6.1 機械コードの入力

各機械には、表 () で読み取れるコード (F.13 など) が割り当てられています。

スターホイールで駆動する作業幅 3 m の搭載型ドリルマシン **AD 2** と **AD-P 2** にはコード F.13 が割り当てられています。

F キーまたは ha キーを押すことによりコンピュータを初めて ON にする際に (Seite 23 を参照)、自動的にコード F.13 が表示されます。

	D8 SPECIAL (スペシャル)	タイヤ 5.00-16	
コード	作業幅	キャリブレーション値 1/40 ha	キャリブレーション値 1/10 ha
F. 1	2.5 m	49.5	197.0
F. 2	3.0 m	41.0	164.0

	D8 SPECIAL (スペシャル) D8 SUPER (スーパー) MD 8	タイヤ 6.00-16	
コード	作業幅	キャリブレーション値 1/40 ha	キャリブレーション値 1/10 ha
F. 3	2.5 m	46.0	185.0
F. 4	3.0 m	38.5	154.0

	D8 SUPER (スーパー) MD 8	タイヤ 10.0/75-15	
コード	作業幅	キャリブレーション値 1/40 ha	キャリブレーション値 1/10 ha
F. 5	3.0 m	37.0	149.0
F. 6	4.0 m	28.0	112.0

	D8 SUPER (スーパー), MD 8	タイヤ 31x15.50-15	
コード	作業幅	キャリブレーション値 1/40 ha	キャリブレーション値 1/10 ha
F. 7	3.0 m	36.0	144.0
F. 8	4.0 m	27.0	108.0
F. 9	6.0 m	18.0	72.0

	D8 SUPER (スーパー)	タイヤ 11.5/80-15	
コード	作業幅	キャリブレーション値 1/40 ha	キャリブレーション値 1/10 ha
F. 10	4.5 m	22.0	88.0
F. 11	6.0 m	16.5	66.0

	AD 2 AD-P 2	搭載型ドリルマシン スターホイール ø 1.18m 装備	
コード	作業幅	キャリブレーション値 1/40 ha	キャリブレーション値 1/10 ha
F. 12	2.5 m	27.0	108.0
F. 13	3.0 m	22.5	90.0
F. 14	4.0 m	17.0	67.5
F. 15	4.5 m	15.0	60.0

	RP-AD 2 RP-AD-P 2	タイヤパッカー 搭載型ドリルマシン	
コード	作業幅	キャリブレーション値 1/40 ha	キャリブレーション値 1/10 ha
F. 16	2.5 m	59.0	235.0
F. 17	3.0 m	49.0	196.0
F. 18	4.0 m	37.0	147.0
F. 19	4.5 m	33.0	130.5
F. 20	6.0 m	24.5	98.0

	精密シーダ ED
コード	作業幅
F. 21	2.7 m
F. 22	3.0 m
F. 23	3.2 m
F. 24	3.6 m
F. 25	4.0 m
F. 26	4.2 m
F. 27	4.5 m
F. 28	4.8 m
F. 29	5.4 m
F. 30	6.0 m
F. 31	6.4 m

6.1.1 コードのプログラミング

F

キーを押す場合、最新のコードが表示されます。このコードを変更したい場合:

1. F キーを 2 秒間押します。
   表示: コードが点滅します。
2. ha
   キーは正しいコードが表示されるまで次のように押します。

   ha キーを押すごとに、ディスプレイには次のコードが昇順で表示されます。

   ha キーを押し、その後押したままにすると、ディスプレイにコードが降順で表示されます。
3. 希望するコードがディスプレイに表示されたら、すぐに F キーを 2 秒間押します。これによりコードがプログラミングされます。
   F キーを**押さない場合**、（点滅している）表示されたコードは 10 秒後に自動的にプログラミングされます。

6.2 機械係数と作業幅を入力

6.2.1 様々な機械用の係数

機械	駆動系統	係数
AD-P Special（スペシャル）	スターホイール	113.5
AD-P Super（スーパー）	スターホイール	101.4

機械	タイヤ	係数
D9	6.00 – 16	216.3
D9	10.0 / 75-15	225.0
D9	31x15.5-15	231.4

機械	駆動系統	係数
AD03	スターホイールとチェーンホイール 26	399.2
AD03 Variant（バリアント）	スターホイールとチェーンホイール 40	259.5
AD03	タイヤパッカーローラ RP	238.3

6.2.2 係数の計算

表 () に指定されているものとは異なるキャリブレーション値でキャリブレーションテストを実行する場合、あるいは 25 ページの章に記載されている通りにセンサまたはマグネットがご使用のシードドリルに固定されていない場合、ご使用のシードドリルのデータを計算し、そのデータをプログラミングしてください。

1. まずシードドリルで 100 m 以上の測定距離 (L) を移動してください。
2. 測定距離を移動する間、プロペラシャフトにあるマグネットの回転数 (z) を数えてください。
3. 検出した値から係数を計算してください:

$$係数 = \frac{L\ (m) \times 100}{z}$$

例: L = 100 m

z = 59.5

$$係数 = \frac{100\ (m) \times 100}{59.5}$$

係数 = 168.1

6.2.3 係数と作業幅のプログラミング

検出した係数とご使用のシードドリルの作業幅を次のようにプログラミングしてください:

1. F キーを 2 秒間押します。表示: コード (点滅)
2. コード F.0 (点滅) が表示されるまで ha キーを押してください。
3. 記号 [o] が表示されるまで F キーを押してください。
   表示: コード F.0 の係数。この係数は次のように変更できます:
   3.1 コンマが正しい位置に来るまで ha を押します。
   3.2 F 表示: 1 番目の数字が点滅
   3.3 1 番目の数字が正しくなるまで ha を押します。
   3.4 F を押します。表示: 2 番目の数字が点滅
   3.5 2 番目の数字が正しくなるまで ha を押します。
   係数 ([168.1]
   など) が設定されるまでこのように手順を実行してください。
4. 記号 [I- - - -I] が表示されるまで F を押します。表示:
   コード F.0 の作業幅。この作業幅は次のように変更できます。
   4.1 1 番目の数字が点滅するまで F を押し続けます。
   4.2 1 番目の数字が正しくなるまで ha を押します。
   4.3 F を押します。表示: 2 番目の数字が点滅します。
   4.4 2 番目の数字が正しくなるまで ha を押します。
   作業幅 (3 m の作業幅用に [_3.00]
   など) が設定されるまでこのように手順を実行してください。
5. 機械 - 番号 F.0 が表示されるまで F を押し続けます。

ユーザによってプログラミングされた係数と作業幅は、コード F.0 に保存されています。

7 機械の使用

7.1 作業開始

作業開始前にメモリの内容を削除する場合:

- 表示が 0.000 になるまで ha キーを (およそ 2 秒間) 押したままにします。

→ メモリの内容は削除されます。

マグネットが回転し始めると、つまりシードドリルで作業が開始されると、コンピュータはセンサ「ha」からインパルスを受信し、作業済み面積を測定し始めます。作業済み面積は ha キーを短時間押すことによりコンピュータのディスプレイにいつでも表示できます。例えば 12.73 という表示は 12.73 ha = 127300 m^2 に相当します。

7.2 運転休止

コンピュータが 1.5 時間インパルスをまったく受信しない場合、または 1.5 時間キー操作がまったく行われない場合、コンピュータは自動的に OFF になります。

あるいは、ha キーと F キーを同時に 5 秒間押し続けることにより、コンピュータを手動で OFF にすることもできます。ディスプレイには [STOP] が表示されます。

コンピュータを自動または手動で OFF にする際、すべてのデータは保存されます。

コンピュータを OFF にすると、

- 表示が OFF になります。
- 電力消費量が減ります。
- バッテリーの寿命が延びます。

以下が行われるまで、スイッチ OFF 後にコンピュータは待機位置にあります。

- コンピュータがセンサからインパルスを受信するまで
- キーを押すまで

データが失われないようにするため、バッテリーを外す前にコンピュータを OFF にします。

7.2.1 センサケーブルプラグをコンピュータから外す

シードドリルをトラクターから連結解除する前に、ローレットねじを外し、センサケーブルプラグをコンピュータから引き抜き、ケーブルを湿度に対する保護が施された適切な箇所 (シードボックス下側の側面など) に固定します。

7.3 コンピュータの保護

直射日光下でパーキングする車両の内部は高温になります。

コンピュータは高温の環境に長時間置かないでください。さもないとコンピュータが破損する場合があります。
冬の間、コンピュータは霜防止措置が施された部屋で保管してください。

8 不具合

8.1 機能チェック

コンピュータが正常に働かない場合、以下を点検してください。

- バッテリー電圧が低すぎないか
- コンピュータが故障していないか、または
- センサが故障していないか

8.2 バッテリ電圧の確認

バッテリーの電圧が低すぎる場合、コンピュータはディスプレイに記号 [-bl-] を短時間表示します。

バッテリーの電圧は次の手順でも確認できます:

1. コンピュータを OFF にします (31 ページの を参照) 。
2. コンピュータを ON にします (31 ページの を参照)

[-bl-] が表示される場合、電圧が低すぎます。

1. コンピュータを OFF にし、新しいバッテリーを入れてください (18 ページの を参照) 。

8.3 コンピュータの機能を確認

1. センサケーブル ha をコンピュータから外します。
2. コード F.1 をプログラミングし、ha キーを少しの間押します。
3. 接続ソケットのピンは小型のドライバーで複数回ブリッジします (図 13)。

→ コンピュータはピンのブリッジによってシミュレートされたインパルスを処理し、これを追加表示します。

4. コンピュータがインパルスを正しく処理しない場合、コンピュータを交換しなければなりません。

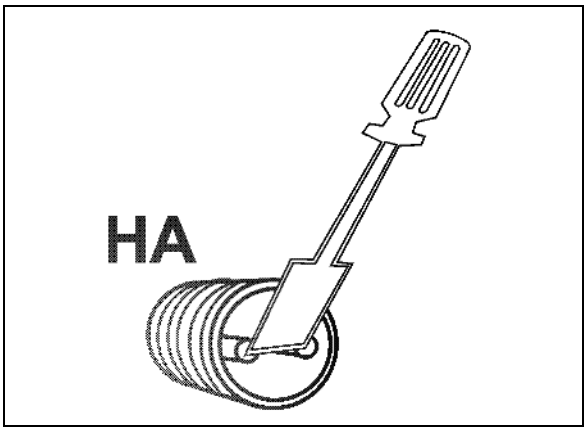

図 13

8.4 センサ「ha」の機能点検

8.2 章と 8.3 章に記載されている通りにコンピュータを点検し、エラーを特定できなかった場合、エラーの原因はセンサを正しく取り付けていないか、センサまたはセンサケーブルが故障していること以外にあり得ません。センサを確認してください:

1. センサ「ha」とマグネットをシードドリルから外します。
2. センサケーブル「ha」をコンピュータに接続します。
3. コード F.1 をプログラミングし、「ha」キーを短時間押します。
4. マグネットはセンサのすぐ近くを通過させます (インパルスのシミュレーション) 。

   コンピュータはシミュレートしたインパルスを処理し、表示に追加します。

→ コンピュータがインパルスを正しく処理しない場合、センサを交換しなければなりません。

→ コンピュータが正常に働く場合:

シードドリルでセンサとマグネットの距離を縮めます。

AMAZONEN-WERKE

H. DREYER GmbH & Co. KG

Postfach 51
D-49202 Hasbergen-Gaste
Germany

電話： +49 5405 501-0
Fax： +49 5405 501-234
E-mail： amazone@amazone.de
http:// www.amazone.de

工場：D-27794 Hude • D-04249 Leipzig • F-57602 Forbach
支社：イギリス、フランス

無機質ブロードキャスター、スプレーヤー、シードドリル、
整地機械および共同ユニットのメーカー